

めざす子ども像

心豊かに、共に生きぬく児童・生徒を育てよう

取組目標

「つながる力を育てよう」 ～地域全体で子どもを守り、育てる取り組みを進める～

今年度の取り組み

今年度の新たな取組として、漢字検定を実施しました。

初年度は、まず中学生を対象に、10月と1月の2回、中学の教室をお借りして行いました。コーディネーターは、申し込みの受付、当日の試験監督そして、発送までを担当しました。中学生の資格取得に対する意識は高く、1回目で110名、2回目も70名近くと、学習意欲向上の確かな手ごたえを感じました。次年度から、漢検ボランティアを募り役割分担し、また受験資格も地域の方や、小学生に広げていきたいと思っています。



また、中学の学校行事である「ふれあい文化発表会」を2部制とし、午後の部を地域教育協議会共催による、マリンバ演奏会を開催。受付、司会進行をコーディネーターが務め、和やかなひと時を過ごしました。



今年度のまとめ

「交流のつどい」のテーマが、「これまでの10年、これからの10年」ということで、活動の見直しや、目指す子ども像を、コーディネーターで再確認し、これからの活動の方向づけができました。

来年度に向けて

校区への啓発として、のぼりも作成できたので、より一層地域への発信を続けていきます。

また、定着してきたこの事業の、校区らしいオリジナルキャラクターのデザインを、小・中学生に広く公募し、活動を発展させるよう、頑張っていきたいと思っています。

めざす子ども像

心豊かに、共に生きぬく児童・生徒を育てよう

取組目標

「つながる力を育てよう」 ～「伏見中 大好き！」と心から言える日のために～ 地域と共に育つ生徒の育成**今年度の取組紹介**

地域連携を主軸とした、「地域と共に育つ生徒の育成」を目指し取り組みました。

ボランティア活動（通年）

コーディネーターを中心に、図書・環境・部活動巡回の各ボランティアで支援をいただき、教育環境の整備・美化や、生徒たちの安心・安全な活動が行うことができています。また、生徒も地域の諸活動に積極的にボランティアとして参加しています。

**ふれあい文化発表会を協議会と共催（9月13日〈水〉実施）**

今年度初の試みとして、ふれあい文化発表会を地域教育協議会と共催しました。文化鑑賞の司会進行や体育館での受付などを地域教育協議会の方に担当していただきました。情報発信の成果もあり、地域の方による作品展示も昨年度に比べ増えました。

**ふれあい体育大会（10月5日〈木〉実施）**

昨年度までの土曜開催から平日開催に変更しましたが、保護者・地域住民の約800名参加の下、ふれあい体育大会を開催しました。保護者・地域の方々も参加できる種目を設け、中学生の迫力のある競技や応援合戦発表など、地域交流と地域への発信の役割を果たしています。

今年度のまとめ

生徒が地域交流事業・地域ボランティアやふれあい行事推進事業に積極的に参加することで、地域とのつながりや信頼関係が深まっています。生徒も地域から頼りにされることを肌で感じ、ボランティア活動が活性化されています。昨年度に比べ、参加するだけでなく参画できることが少し増えました。また、西大寺北地区の防災訓練で生徒会役員が防災についての生徒アンケート結果の発表を行うなど、学校から地域への積極的な発信にも取り組むことができました。

来年度に向けて

生徒会・部活動を中心とした地域交流やボランティア活動への参加はもちろんのこと、各活動において何らかの役割を担うことで、より積極的に地域貢献を果たしていきたいと思えます。

また、学校への支援活動充実のために、情報発信・啓発活動にも力を入れ、コーディネーターやボランティアによる、よりよい体制づくりに取り組みたいと思えます。

めざす子ども像

取組目標

心豊かに、共に生きぬく児童・生徒を育てよう**「いきいきわくわく地域とともに」～伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子～
地域に根ざした「自ら学ぶ子ども 心豊かな子ども たくましい子ども」の育成**

今年度の取組紹介

本年度は、主な柱を「地域連携による伏見まつりの開催 ～子どもの笑顔が地域を笑顔に～」 「地域文化遺産学習等を通じた学校教育活動の充実」 「夏季清掃や本の補修作業等を通じた学校環境整備」とし、取組を進めてきました。

「伏見まつり」を、地域の諸団体、PTA、学校が連携して開催しました。伏見中学校ギターマンドリンクラブによる演奏会、自主防災防犯協議会による防災訓練等多くの内容を盛り込み、地域の方々、子どもたち、学校教職員が、笑顔あふれる充実した一日を過ごしました。学校からは模擬店を出店しました。



学校教育活動充実の側面からは、地域の方々による家庭科学習支援や絵本の読み聞かせ活動等を行いました。このことによって、学習の場が和やかになる、互いに協力し合う雰囲気が形成される等の効果を得ています。子どもたちも、地域の方とふれ合ったり、一緒に活動したりすることをごく自然なこととしてとらえています。

学校環境整備の側面からは、夏季清掃や図書室の蔵書補修等を行いました。多くの方々が、より良い学校環境づくりに力を尽くしてくださっています。

教育活動の活性化、地域拠点としての学校の機能の維持向上、子ども・地域・学校相互のより良い関係形成の面において、一定の効果を得ることができたと考えています。

今年度のまとめ

伏見まつりへの教職員の参加等を通じて、地域の方々と学校との連携や協働の姿を、具体的な形で子どもたちに示すことができました。また、日々の教育活動の中で、次のような子どもの声も聞かれました。これらのことから、地域や地域に住む人に対する子どもの愛着が、着実に育ってきているものと考えています。

わたしは、今日どう校の見守りをしてくださっている○○さんに花と手紙をわたすことにしました。花と手紙をわたすには、理由があります。その理由は、三年生の一学きの時、兄と家を早く出ると、雨がふってきました。わたしと兄は、かさを持っていなかったのでもう、かさをとりました。すると、後ろから○○さんが自慢で、車で行って来て、

「あ、かさ持っていないの？ おりたみがかさかしてあげようか？ わたしが、見守りしている所でかえしてね。」

と云って、おりたみがかさを二本かしてくれました。わたしは、（今どき会うときには、花か手紙をプレゼントしたいな）と思ったので、あげることにしました。わたしは、母とわたしは、花と手紙をわたしに行きました。母が、

「わたしは、何か一言言わないとだめだよ。」

と言いました。わたしは、びっくりしました。わたしは、とてもドキドキしました。家に着くと、母がインターホンをおしました。ドアから○○さんが出てきて

「あーあー。」

と云っていました。わたしは、ときどきしながら

「え、えっ？！ いつもう校の見守りをしてくださってありがとうございます。」

と云って花と手紙をわたしました。すると、○○さんが、

「ありがと。」

と云ってくれたら、自分もうれしくなりました。（あんなによいこと、自分でできたよ。）

帰りました。

来年度に向けて

諸活動に携わってくださる方の世代交代や新たな人材の参加が徐々に進んでいますが、継続的かつ安定的な人材の確保が今後引き続きの課題であると考えています。

めざす子ども像

心豊かに、共に生きぬく児童・生徒を育てよう

取組目標

「出会いと体験から豊かな学びを」―地域ぐるみの子育て―

今年度の取組紹介

- 「学習支援ボランティア」の事業が年間を通して展開されています。5月30日の「芋苗さし」では、1年生とわくわく学級の児童で作物を作る学習をしました。芋のつるを見せてどの部分を土の中に入れてばよいのか教えていただいてから一人1本ずつつる苗をさしました。
- 1月26日に1年生の「昔の遊びをしよう」がありました。1年生83名が体育館で折り紙、あやとりなど11種類のコーナーを回って地域の方々に遊び方を教えてもらいました。作り方や遊び方、ルールなどを手本を示しながらやさしく教えていただいたので、とても楽しい学習の時間になりました。
- 他にも3年生があやめ池の歴史について学んだり、6年生が環境教育の一環としてEM団子を活用したプール清掃を行ったりと、様々な体験的学習を通じて地域の方々の支援を受けています。
- 環境ボランティアや図書館ボランティアなど、年間を通じて支援を受けています。図書館ボランティア活動では、本の整理や修繕の他に館内の掲示物など環境整備にも力を入れていただいています。



今年度のまとめ

校舎建て替え工事が昨年度に完了し、地域のみなさまのご協力を得て、様々な事業・行事を以前と同じような形で進めることができました。図書館ボランティアや様々な体験活動など、例年以上に活動が広がりを見せている事業もあり、学校と地域の連携がさらに深まって交流の幅を広げることができています。かかわってくださったボランティアさんの累計は1700名を超え、テーマの「心豊かに、共に生きぬく児童・生徒を育てよう」により迫ることができたと感謝しております。

来年度に向けて

次年度も「地域ぐるみの子育て」を大切にして継続した取組を進めたいと考えています。本年度以上に学校と地域との連携を深めて、人々と繋がり、交わる活動を推し進めていきたいと考えています。また、PTA・保護者に対しても「地域から学び、地域に誇りをもつ」児童の育成を目指す本事業への理解をさらに深めていただくため、取組を充実していきたいと考えています。

目指す子ども像 **心豊かに、つながりを持って共に生き抜く児童****取組目標** 自分たちの暮らす地域についてよく知り、支えてくれている地域の人たちがいることを感じられる行事を通じ、自分や友達の良さを発見していく。

今年度の取組紹介

◆昔あそび（2月2日金曜）

毎年子どもたちに「昔あそび」を教えに、地域のボランティアの方々が来てくださいます。子どもたちも楽しみにしている行事です。今年は新しく輪投げを増やし、コマ回し、あやとり、百人一首（ぼうずめくり）、お手玉、など様々な遊びを教えに来ていただきました。

この交流を通して、地域の方々と子どもたちとのつながりが深まり、子どもたちが自分の町を好きになる大切な行事となっています。



◆能体験・鑑賞（11月28日火曜）

日本の伝統芸能である能を体験・鑑賞する取り組みを継続しています。

地域にお住まいの金春穂高さんはじめ10名ほどのの方々に来校していただき、能のお面をつけての歩き方や所作、和楽器（鼓・小太鼓・横笛など）の演奏を教わりました。体育館で各ブースに分かれ、子どもたちは順番にすべてを体験していきました。

その後、能の鑑賞として目の前で迫力ある舞台を見せていただきました。日頃できない貴重な体験ができました。



今年度のまとめ

本校は水曜日の放課後に運動場と体育館、北っこルームを開放して「放課後子ども教室」、土日は「わんぱく広場」があり、コーディネーターさんのおかげで様々なスポーツや遊びに取り組んでいます。

地域の防災訓練では本校を会場に、小中一貫教育の取組として伏見中学校が参加、夏休みの親子清掃には平城中学校が参加してくれました。本校は2つの中学校に進学するので、地域も2つにまたがり交流を深めることができます。また、西大寺北地域では今年、登下校見守りボランティアを立ち上げ、毎日通学路に立ってくださっています。こういった積み上げによって、地域の方々に支えられていることを感じ、自尊感情や地域を愛する心を育てていきたいと思っています。

来年度に向けて

今年は特にホームページの更新に力を入れ、毎日「今日のトピックス」として学校の取り組みや地域との交流を紹介しました。保護者には認知度が上がりましたが、地域の方にもあまり見てもらえなかったのが、今後はより多くの方にアクセスしてもらえようさらに努力し、地域行事の紹介にも力を入れていきたいと思っています。

めざす子ども像

心豊かに、共に生きぬく児童・生徒を育てよう

取組目標

地域の方々やコーディネーターとの連携を図り、子どもの心動かせるような、感動体験ができるようにする。

今年度の取組紹介

わらべうたは、日本の音階である5つの音によって作られたメロディーに、きれいな日本語をのせて昔から歌い継がれてきた目に見えない文化財です。

親しみ触れる機会として、年3回わらべうた遊びを実施しました。6月の土曜参観では、手遊びやジャンケン遊び身振り遊びを親子で行い、10月は、まり遊び、1月は、お手玉遊びといろいろな遊びを家族や友達・地域の方と楽しみました。「今日は、どんなことをするのか」と興味を示したり、地域の方がされている様子を見て「すごい、まりつき名人だ」と驚いたりしました。園児が使うお手玉を保護者につくってもらう予定でしたが、お手玉づくりを経験したことがない保護者が大半を占めていたので、地域の方々にご指導してもらえようをお願いをしました。地域の方と保護者とが楽しい雰囲気の中で一緒にお手玉づくりをしてくださり、子ども達は手作りのお手玉に愛着を持ち、友達と声を響き合



わせる心地良さなどを感じていました。奈良に伝わる伝承遊びに触れることで、地域の良さや人と触れ合うことの楽しさを感じ、心が動かされる感動体験になりました。



今年度のまとめ

年間を通して様々な方の協力を得て、すべての活動が充実した取り組みとなり多くの感動体験をすることができました。世界遺産学習事業で行っている蚕の飼育を通して、昔から伝わる伝統文化を知り、達成感や一体感・命の尊さを感じるなど心動かされる体験から思いやりの心が育ち子ども達の成長を感じました。また、地域の方やゲストティーチャーの方々との触れ合いは、人と関わる楽しさや喜び、また人の温かみを感じることができ、有意義でした。

来年度に向けて

子ども達を取り巻く環境の中で、より豊かな感動体験ができるような環境づくりが必要と感じています。様々なことや人と関わりながら行う活動、地域の特色や教育力を活かした活動の充実を目指していきたいです。また、園・家庭・地域の協力体制の強化にも努めたいと思います。

めざす子ども像

心豊かに、共に生きぬく児童・生徒を育てよう

取組目標

地域の教育力を活かした心揺さぶられる体験活動や人との触れ合いを大切にする

今年度の取組紹介

【サッカーで遊ぼう】

今年度は、年間8回サッカーで遊ぼうを行いました。毎回2名のコーチが来園し、しっぽとりや鬼ごっこなどで楽しく体を動かしたり、ボールを使つての準備運動やサッカーをしたりして遊びます。自由見学の保護者の応援も受け、子ども達は生き生きとボールを追いかけます。友達と一緒にのびのびと体を動かし運動することの楽しさを感じ、体力向上の取り組みとなっています。様々な人と触れ合うことで親しみを持ち、保護者の方にも運動遊びの大切さについて理解を得ることができました。



【地域交流会（カレーパーティー）（みそ汁パーティー）（ふれあい会）（グラウンドゴルフ）他】

菜園活動で、地域の農園ボランティアの方々と一緒に育てた野菜を使ってカレーやみそ汁をいただきました。日頃からお世話になっている地域のゲストティーチャーや、校長先生、農園ボランティアの方々と一緒に食べたり、エプロンシアターや絵本を見たり踊ったりしました。



子ども達は、地域の方と幼稚園での遊びや生活、地域の話をしたりして楽しく過ごしました。優しく笑顔で話をしてくださる様子に、子ども達もすぐに打ち解け、回数を重ねるごとに親しみを持って人とのかかわり地域に愛着が持てる活動となりました。

今年度のまとめ

◆「サッカーで遊ぼう」「ちびっこ探検隊」「体操の日」「お茶の日」「習字の日」「英語の日」などでは講師を招聘し活動を積み重ね、のびのびと体を動かしたり、日本の伝統文化に触れたり、英語や外国に興味を持つなど子ども達の豊かな学びにつながりました。友達と一緒に本物に触れ、体験することで、遊びや活動の幅が広がり、地域に愛着を持ちコミュニケーション力も高まりました。

◆地域の方と行う菜園活動や子育て支援活動も、保護者からは「地域の方と一緒に野菜を育てタマネギを食べるようになりました」「子どもが地域の方に自分から挨拶して嬉しいです」「家庭ではできない様々な体験をしているのでありがたいです。」などの感想をいただき理解と協力を得ています。

来年度に向けて

◆今年度の子ども達の姿から継続の大切さを感じるので、今年度の事業も続けながら地域に積極的に働きかけ、園教育への理解と協力が得られるようにしていきたいと思います。

◆地域の特色や教育力を活かし幼児がより楽しく活動できるよう、環境づくりや援助の工夫をし、家庭、地域への情報発信も大切にしていきたいと思います。

めざす子ども像

心豊かに共に生きぬく児童・生徒を育てよう

取組目標

身近な人と人との輪の中で「まなび」「育み」「輝く」子どもを育成する

今年度の取組紹介

地域のゲストティーチャーによる活動**【お茶を楽しもう】**

お茶を点てる経験は、普段はなかなか体験することのできない貴重な活動である年間3回「お茶を楽しもう」を実施しました。3回目の新春お茶会は親子での参加でした。子どもたちはお家の人と向かい合って座り、緊張感が漂う雰囲気の中で、両手を膝の前でハの字にして深くお辞儀をする作法やいろいろな場面での挨拶の仕方を教えてもらい「よろしくお願いします」の挨拶でお茶会が始まりました。お菓子や自分で点てたお茶を運んだり、お家の方が点ててくれたお茶を「ちょうだいいたします」と挨拶していただいたりしました。笑顔で「ちょっと苦かったけど飲めたよ」お家の方と一緒にすることが楽しい様子でした。最後におしるしを一人一人先生からいただき嬉しそうな笑顔を見せていました。保護者の方には、ゲストティーチャーとして地域の方を招聘し、地域の教育力を活用した園の取組を知ってもらうことができました。

**【サッカーを楽しもう】**

運動能力や身体機能を高めていくことをめざし「サッカーを楽しもう」に取り組んでいます。「明日はサッカーの日だよ」と話すと「やったぁ楽しみ」「シュートして勝つぞ」と楽しみにする様子が毎回見られました。コーチの掛け声や合図を聞いて、ダッシュしたり、ゴールめがけてシュートをしたり、友達と園庭を元気いっぱい走る子どもたち。試合になるとどちらのチームも気合が入り、一生懸命ボールを追いかける様子が見られました。「サッカーを楽しもう」の活動は、友達との輪も広がり、のびのびと体を動かす楽しさを思い切り味わうことができました。



今年度のまとめ

地域の教育力を活かした活動は、子どもたちの興味や関心を引き出せた充実した活動となりました。また、ゲストティーチャーの方が、いつも子どもたちの育ちを温かく見守ってくださるので、子どもたちは親しみを感じ、自分から積極的に関わっていく姿も見られました。いきいきと活動に参加し、子どもたちの心や体を豊かに成長させていくことに繋がる活動でした。保護者の方々にも有意義な活動であると関心が高いです。

来年度に向けて

人とのかかわり互いに認め合うことは、物事への意欲を高め、自ら考え行動する子どもを育む基礎となりました。体験活動を見直しながらさらに充実した活動となるよう継続して取り組み、一人一人の子どもの確かな力、豊かな心に結びつく体験として積み重ねていきたいと思っています。